2026年11月12日

各　位

会　社　名　日本特殊塗料株式会社
代表者名　代表取締役社長執行役員　遠田　比呂志
(コード番号 4619 東証スタンダード)
問合せ先　執行役員経営企画部長　中嶋　剛
(TEL　03－3913－6136)

2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と、本日公表の実績との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1．2027年3月期2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	31,700	1,500	3,500	2,550	119.75
今回修正予想（B）	32,149	2,164	4,349	3,276	153.85
増減額（B－A）	449	664	849	726	―
増減率（%）	1.4	44.3	24.3	28.5	―
（ご参考）前期第2四半期実績（2026年3月期第2四半期）	30,300	1,640	2,825	2,595	119.32

2．差異の理由

2027年3月期第２四半期（中間期）の連結業績につきましては、塗料関連事業において、価格改定や中東情勢の緊迫化を背景とした先行需要により売上高が伸長するとともに、原価低減活動や価格改定の効果により採算が改善いたしました。また、自動車製品事業においても、主要取引先への価格改定が進捗し、原材料価格等の上昇による影響を吸収いたしました。さらに、海外の持分法適用会社に係る投資利益が当初の想定を上回ったこともあり、売上高及び各段階利益は、いずれも前回公表予想を上回りました。

2027年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向に加え、今後の受注動向や原材料価格の動向等、事業環境の変化を慎重に見極める必要があることから、前回公表予想を据え置いております。

以上